

教育内容 科目の設定及び設定理由

		授業科目	単位	時間数	授業のねらい・設定理由	
基礎分野	科学的思考の基盤	心理学	1	30	人間の行動を多面的に理解するために、内面的なものの方、考え方を学習することで、心をもつ人間の存在について学ぶ。そして、自己と他者を理解するための能力を養う。	
		教育学	1	30	教育の原理および教育方法・評価の基礎を学び、人間形成における教育の機能を理解すると共に看護師として生涯学習の必要性の自覚を深める。	
		哲学	1	30	人生、世界、物事の根本原理や抽象概念を探究する姿勢を養い、人間の存在、価値観、倫理観、物の見方を理解する。	
		論理学	1	30	思考の形式と法則を学び、論理的思考の筋道を立てられること及び、他者の考えを理解し、自己表現力を高められる能力を養う。	
		生活科学	1	30	日常生活を構成している様々な活動や出来事を取り上げ、自然と人間生活の調和について、科学的根拠を持って理解することができる。また、健康的な生活のあり方や日常生活上のマナーを理解し看護の場へ応用できる能力を養う。	
		コミュニケーションスキル	1	30	人間を人との関係で成長する存在として捉え、人間関係を円滑に保つ必要性と方法について理解するとともに体験学習を通して必要な技術を養う。	
		健康体育Ⅰ	13	1	15	運動生理学の基礎的なこととして、運動によって体にどのような変化が生じるのか、その現象としくみについて理解する。また、日頃の自己の健康と運動との関連を振り返りつつ、発達段階をふまえた生涯スポーツの意義や健康の保持増進について講義・実技を含めて学習する。
		健康体育Ⅱ	1	30	スポーツを通して心身のリフレッシュを図ると同時に、自己の体力を維持増進し、また、集団活動を通して、責任、協力、協調性を養う。	
		英語Ⅰ	1	30	看護に必要な英語の基礎知識を身につけ、具体的な看護場面を想定しながら体験学習を行うことで、英語によるコミュニケーション能力を養う。	
		英語Ⅱ	1	30	英語に親しみ、看護に必要な英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。また外国文化について理解を深める。	
		情報科学	1	30	情報理論の基礎や情報の伝達、処理、管理について理解する。また、基本的な統計データの整理や活用について理解する。	
		ボランティア論	1	15	ボランティアに関する基本的な知識を学び、人への関心を高め、自己の主体的な関心や問題意識に基づいてボランティア活動に参加する。それらを通して、地域社会への理解を深める。	
社会学	1	30	社会的存在としての人間を理解するとともに、多様な社会、文化、価値観があることを理解し、幅広いものの方が見方ができる能力を養う。			
基礎分野 小計		13	360			

	授業科目	単位	時間数	授業のねらい・設定理由	
人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ (筋・骨格)	1	30	筋・骨格の構成や形態機能を系統的に理解し、人間の部分と全体が関連していることを理解する。	
	解剖生理学Ⅱ (呼吸・循環・腎泌尿器)	1	30	呼吸・循環・腎泌尿器の構成や形態機能を系統的に理解し、人間の部分と全体が関連していることを理解する。	
	解剖生理学Ⅲ (消化・内分泌)	1	30	消化・内分泌の構成や形態機能を系統的に理解し、人間の部分と全体が関連していることを理解する。	
	解剖生理学Ⅳ (神経・生殖)	1	30	人間の生態の発生から、神経・生殖の構成や形態機能を系統的に理解し、人間の部分と全体が関連していることを理解する。	
	生化学	1	30	生体内で営まれている様々な現象を、科学的に考察し、科学物質の性状、その分布及び代謝、エネルギーなどの生命現象について理解する。	
	栄養学	1	30	人間にとっての栄養の意義を認識し、健康な生活を営むために適正な栄養について理解する。また、食事療法の基本を理解する。	
	薬理学	1	30	薬理作用の基礎知識に基づき、薬物の特徴、作用機序、人体への影響及び管理について理解する。	
	微生物学	15	1	30	微生物の特徴を理解するとともに、感染メカニズムについて理解し、その原因となる微生物を知り、生体に及ぼす影響と対応方法を理解する。さらに、人体の生体防御メカニズムを理解し、予防接種、血清療法等も理解する。
	病理学	1	30	病気及び病的状態の本質について正常と異なる現象を理解し、病気の基本的なしくみや病気の原因、病変について理解する。	
	病態疾病論Ⅰ (呼吸・循環・消化器障害)	1	30	呼吸・循環・消化器障害の原因、構造、経過と診断過程及び治療について理解し、対象の生活と疾病の成り立ち回復の促進について理解できる。	
	病態疾病論Ⅱ (内分泌・代謝・腎泌尿器・造血器障害)	1	30	内分泌・代謝・腎泌尿器・造血器障害の原因、構造、経過と診断過程及び治療について理解し、対象の生活と疾病の成り立ち回復の促進について理解できる。	
	病態疾病論Ⅲ (運動器・脳神経障害)	1	30	運動器・脳神経障害の原因、構造、経過と診断過程及び治療について理解し、対象の生活と疾病の成り立ち回復の促進について理解できる。	
	病態疾病論Ⅳ (感覚器障害)	1	30	感覚器障害の原因、構造、経過と診断過程及び治療について理解し、対象の生活と疾病の成り立ち回復の促進について理解できる。	
病態疾病論Ⅴ (外科的治療を要する障害)	1	30	外科的治療を要する障害の原因、構造、経過と診断過程及び治療について理解し、対象の生活と疾病の成り立ち回復の促進について理解できる。		
特殊治療学	1	15	がん治療の動向を学ぶとともに、放射線療法・化学療法や疼痛緩和の概念と方法について理解する。		

専門基礎分野

疾病の成り立ちと回復の促進

		授業科目	単位	時間数	授業のねらい・設定理由	
専門基礎分野	社会保障制度と生活者の健康	公衆衛生学	6	1	20	公衆衛生に関連する統計情報を理解し、健康を保持増進するための望ましい制度や組織活動について理解する。
		関係法規		1	30	法律の基礎知識を理解し、看護職としての法的責任を自覚するとともに、対象に必要な法の活用の方法について理解する。また、健康医療福祉に関する関係制度を理解し、関係する職種の役割を理解する。
		社会福祉		1	30	社会福祉と医療・社会保障の関連について学び、社会資源の活用方法を理解する。また、保健医療福祉の連携の必要性を理解する。
		リハビリテーション論		1	15	リハビリテーションの基本的概念およびその目的を達成するための治療方法を理解する。
		メンタルヘルスマネジメント		1	30	職場におけるメンタルヘルスの重要性を理解し、勤労者のセルフケア支援やメンタルヘルス不調に対する具体的な実践活動ができるような基礎的な能力を養う。
		勤労者医療概論		1	15	勤労者医療を推進する労災病院で働く看護師として必要となる勤労者の健康管理を行うための基礎的な知識について理解する。
専門基礎分野 小計			21	575		

		授業科目	単位	時間数	授業のねらい・設定理由
基礎看護学	基礎看護学概論	基礎看護学概論	1	30	看護学の基本となる人間、健康、環境、看護についての概念を理解し、看護の対象および保健医療福祉における看護の責任・役割の認識を広げ、看護への関心を深めることができる。
		看護研究 I	1	15	看護研究に関する基本的知識を習得し、看護の問題を科学的に解決するための研究方法を学ぶ。
	基礎看護技術	看護技術 I (共通基本技術)	1	30	看護技術の基本的概念を理解し、「安全・安楽・自立・個別性」の4つを基本原理とした看護技術援助に繋げるための、共通基本技術について学ぶ。
		看護技術 II (フィジカルアセスメント)	1	15	対象者の身体的・生理学的問題をアセスメントするための問診、視診、触診、打診、聴診などの基本的な技術と観察の方法について学ぶ。
		看護技術 III (日常生活援助技術)	2	60	生活を支えることの重要性を理解し、日常生活援助の基本的な技術を学ぶ。
		看護技術 IV (診療過程に必要な技術1)	2	45	検査・治療が効果的に行なわれ、かつ苦痛が最小限となるための基本的な技術を学ぶ。
		看護技術 V (診療過程に必要な技術2)	1	30	薬物療法における看護師の役割や法的根拠を理解した上で、効果的かつ安全・安楽に実施するための基本的技術を学ぶ。
		看護技術 VI (看護過程展開技術)	1	30	対象者の特殊性・個別性に合わせた看護を実践するために、看護過程のプロセスについて学ぶ。
	臨床看護総論	臨床看護総論	1	30	主要症状の特徴・治療の基本と科学的根拠に基づいた看護実践の方法を学ぶ。
	救急看護	救急看護	1	15	救急医療の概念を理解し、救急看護の特性、救急患者の特性や全身所見の把握の仕方、救急処置の方法について理解する。
臨地実習	基礎看護学実習 I	1	45	病院の機能を支える人々と看護の対象者を知る。 看護の対象を理解するために、患者の日常生活におけるニードとは何かを理解し、看護実践をするための基礎となる能力を養う。	
	基礎看護学実習 II	2	90	患者に必要な看護を行うために、基本的な看護過程の展開方法について理解し、看護実践するための基礎となる能力を養う。	
専門分野 I 小計			15	435	

		授業科目	単位	時間	授業のねらい・設定理由	
成人看護学	成人看護学概論	成人看護学概論Ⅰ (成人の発達段階に応じた看護)	1	15	成人各期の特徴を理解し、成人看護の意義と役割について学ぶ。	
		成人看護学概論Ⅱ (成人の健康段階に応じた看護)	1	30	成人期の各健康段階における身体的、心理、社会的特徴を知る。そして、成人期の特徴を踏まえ、各健康段階に応じた看護に必要な知識・技術・態度について学ぶ。	
	成人期にある人の看護	成人臨床看護Ⅰ (成人健康教育技法)	1	15	勤労者の健康の保持増進、疾病の自己管理のための教育に必要な基本的知識・技術・態度について学ぶ。	
		成人臨床看護Ⅱ (呼吸・循環・消化器障害看護)	1	30	呼吸器、循環器、消化器障害が、成人期にある対象者に及ぼす影響を、身体的、心理・社会的側面から捉え、健康上の問題をアセスメントし、看護の実践方法を学ぶ。	
		成人臨床看護Ⅲ (内分泌・代謝・腎泌尿器・造血器障害看護)	1	30	内分泌・代謝・腎泌尿器・造血器障害が、成人期にある対象者に及ぼす影響を、身体的、心理・社会的側面から捉え、健康上の問題をアセスメントし、看護の実践方法を学ぶ。	
		成人臨床看護Ⅳ (運動器・脳神経・感覚器障害看護)	1	30	運動器・脳神経・感覚器障害が、成人期にある対象者に及ぼす影響を、身体的、心理・社会的側面から捉え、健康上の問題をアセスメントし、看護の実践方法を学ぶ。	
	老年看護学概論	老年看護学概論	1	30	老年期の発達段階を理解し、高齢者をとりまく社会、家族についてとらえ、老年看護の意義と役割について学ぶ。	
		老年期にある人の看護	老年臨床看護Ⅰ (高齢者の日常生活を支える看護)	1	30	老化がもたらす生活への影響と看護について学ぶ。
			老年臨床看護Ⅱ (高齢者の健康障害に応じた看護)	1	30	健康障害が老年期にある対象者に及ぼす影響を身体的、心理・社会的側面から捉え健康上の問題をアセスメントし、看護の実践方法を学ぶ。
			老年臨床看護Ⅲ (老年看護技術)	1	15	健康障害をもった老年期の対象者に対する看護の方法について学ぶ。
小児看護学概論	小児看護学概論	1	30	小児各期の特徴と小児の成長発達について理解し、小児を取り巻く社会、家族について捉え、小児看護の意義と役割について学ぶ。		
	小児の看護	小児臨床看護Ⅰ (小児の健康障害)	1	30	病態及び症状、検査・診断を含めた障害の特徴を学び、小児看護の基礎的知識を理解する。	
		小児臨床看護Ⅱ (小児の発達段階・健康障害に応じた看護)	1	30	健康障害をもつ小児の発達段階および疾病・症状に応じた援助方法について学ぶ。	
		小児臨床看護Ⅲ (小児看護技術)	1	15	小児とその家族を対象とし、発達段階に応じた養護と健康障害の看護の方法について学ぶ。	

		授業科目	単位	時間	授業のねらい・設定理由	
専門分野Ⅱ	母性看護学	母性看護学概論	1	30	母性看護の基礎となる概念を理解し、発達段階に応じた母性の健康の保持・増進および次世代の健全育成を目指す母性看護の意義と役割について学ぶ。	
		母性の看護	母性臨床看護Ⅰ (周産期・女性生殖器障害)	1	30	正常妊娠・分娩・産褥の身体的特徴と各期における主な異常とその治療、母性の健康障害として主な女性生殖器障害について学ぶ。
			母性臨床看護Ⅱ (周産期・女性生殖器障害看護)	1	30	正常妊娠・分娩・産褥の心理・社会的変化と新生児の生理、各期における主な異常が母子に与える影響を学び、妊産褥期の母性と新生児、およびその家族への看護について理解する。また、母性の健康障害として女性生殖器障害患者の看護について学ぶ。
			母性臨床看護Ⅲ (母性看護技術)	1	15	新しい家族の誕生期にある母性が健康生活を営むために必要な看護の方法について学ぶ。
	精神看護学	精神看護学概論	1	30	精神看護の対象となる人々を理解し、精神看護の意義と役割について学ぶ。	
		精神に障害をもつ人の看護	精神臨床看護Ⅰ (精神の健康障害)	1	30	心を病む人の症状および状態像を学び、検査・治療を含めた障害の特徴を理解することで、精神看護の基礎的知識について学ぶ。
			精神臨床看護Ⅱ (精神の健康障害に応じた看護)	1	30	精神を病む人の特徴を理解し、症状や状態に応じた看護実践の方法を学ぶ。
			精神臨床看護Ⅲ (精神看護技術)	1	15	精神を病む人及びその家族に必要な看護の方法について学ぶ。
	臨地実習	成人看護学実習Ⅰ	2	90	急性期にある患者および家族を理解し、回復を促進するための看護を展開できる能力を養う。	
		成人看護学実習Ⅱ	6	2	90	生涯にわたり疾病の自己管理が必要な患者および家族を理解し、セルフケア能力を高め、日常生活の拡大を図るための看護を展開できる能力を養う。
		成人看護学実習Ⅲ	2	90	疾病から回復が望めない患者とその家族の全人的苦痛を理解し、その人らしく生を全うできるようなQOL向上のための看護を展開する能力を養う。	
		老年看護学実習Ⅰ	2	90	健康障害により入院治療が必要となった患者とその家族を理解し、老年期の特性をふまえた適切な看護を展開できる基礎的な能力を養う。	
2			90	高齢者の生活の場の違いによる特徴を理解し、日常生活援助を通して健康段階に応じた看護を展開できる基礎的な能力を養う。また、人生観や人生経験、人格を尊重した行動のあり方を学ぶ。		
小児看護学実習		2	2	90	小児期の特徴を理解し、健康の諸段階にある小児とその家族を対象に、健康増進および回復のための看護が展開できる基礎的な能力を養う。	
母性看護学実習		2	2	90	母性看護の対象者とその家族を取り巻く環境について理解し、母性のライフサイクルが健全に送られるための看護を実践する基礎的な能力を養う。	
精神看護学実習		2	2	90	患者がその人らしく生きていくことを支援し、精神の健康の回復、保持増進のための看護を実践する基礎的な能力を養う。	
専門分野Ⅱ 小計		38	1290			

授業科目		単位	時間数	授業のねらい・設定理由	
在宅看護論	在宅看護概論	1	30	地域で療養している人々とその家族を支援することの意義を理解し、在宅看護に必要な基礎知識を学ぶ。また、療養生活を豊かにするために、保健医療福祉システムを活用して、関係者と協働していくための方法について学ぶ。	
	在宅援助論Ⅰ (在宅療養者の日常生活を支える看護)	1	30	療養者と家族への基本的な日常生活援助を行うための基本的能力を養う。	
	在宅援助論Ⅱ (医療管理を必要とする療養者の看護)	1	30	医療管理を必要とする療養者と家族へ援助およびケアマネジメントに必要な看護技術について学ぶ。	
	在宅援助論Ⅲ (在宅看護技術)	1	15	療養者・家族を一単位とした在宅看護論を展開する方法について学ぶ。	
現代医療の倫理と安全	現代医療の倫理と安全	1	15	医療安全の基礎的知識を学ぶ。さらに、医療・医学と、患者・社会の接点で多岐にわたる問題の中から、患者の権利を基本テーマに望ましい医療のあり方や医療の担い手にもっとも必要とされる資質について学ぶ。	
	災害看護	1	15	災害時の救急医療・看護について理解し、必要な看護の方法について学ぶ。	
	看護管理と国際協力	5	15	チーム医療における看護師として調整とリーダーシップ・マネジメントの基礎、および看護管理の視点について学ぶ。また、世界の健康問題の現状を知り、国際協力のしくみについて学ぶ。	
	看護研究Ⅱ	1	15	研究的姿勢をもって実習に取り組み、論理的思考にて自己の看護を発展・拡大させることができる。体験や事象の意味するところを論理化したり、日頃の看護実践から新たなテーマを探求し、自己の看護を発展・拡大することができる。	
	看護技術評価	1	15	自己の看護技術の習得状況进行评估し、看護技術における課題を明確化する。また、診療の補助業務における事故防止のための知識を統合したアセスメント力、実践力の向上につなげる。	
臨地実習	在宅看護論	2	2	90	在宅で療養する対象者を理解し、保健医療福祉の連携および社会資源の活用の実際にふれることにより、在宅療養を支えるための看護を実践する基礎的能力を養う。
	看護の統合と実践	2	2	90	既習の知識・技術・態度を統合し、実務に沿った看護実践力を高める。
統合分野 小計		13	360		